

事業所名	グループホーム 楽々園
日付	2009/3/7
評価機関名	特定非営利活動法人 高齢者・障害者生活支援センター
評価調査員	介護支援専門員・介護福祉士・認知症ケア専門士 ・社会福祉主事 訪問介護員
自主評価結果を見る	
評価項目の内容を見る	
事業者のコメントを見る（改善状況のコメントがあります！）※	

## 1. 評価結果の概要

<p><b>講評</b></p> <p>全体を通して（特に良いと思われる点など）</p> <p>○ 福祉に関係のない業種からの介護事業の参入で、代表者の人生観と介護に対する熱い思いで開設されたホームです。志を実現すべく、全職員が一丸となって入所者を大切にされたケアが実践されていました。</p> <p>○ 職員間の関係も非常に良好で、業務の中で助けあいの精神が生かされて、日本の古きよき時代の家、家族を感じる事ができました。</p> <p>○ パーソナルフレンドを大切にされたコミュニケーションが図られており、地域との連携も代表者、管理者をはじめ全職員が一丸となり、一歩一歩改善への取り組みがされており、地域に根ざしたグループホームへの努力が感じられました。</p>
<p>特に改善の余地があると思われる点</p> <p>特に改善というわけではありませんが、これからも初心を忘れず理念を大切にされたケアに取り組まれる事を期待しております。</p>

## 2. 評価結果（詳細）

### I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
	常に理念「その人らしさの生活を、家庭的環境のもとで、自由なくらし」を念頭に業務に携わり、その人らしい生活を支援し、出来ない事に対してそっと手を差し伸べることで入居者一人ひとりの残された力を活かしながら自立した生活が送れるよう支援し、尊厳を大切にされたケアを心がけた温かさが伝わってくるグループホームを目指している。		

### II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
	季節の移り変わりが感じられる行事・催しを行ない、生活に潤いと楽しみが感じられるような取り組みがされている。日常生活の中では外出や散歩に出掛けるなどで気分転換を図っている。また、利用者一人ひとりのペースを大切にし、無理をしない支援を心がけている。		

### III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりにあわせて調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

### III ケアサービス（つづき）

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にされた整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
	個人の生活リズム、プライバシーを尊重し日常生活において（掃除、洗濯干し、調理、縫い物、庭仕事等）個人のできる能力と得意なことに力を発揮できる様に、また、趣味など今まで取り組んでいた事が継続できる支援に取り組んでいる。プライバシー保護に配慮して居室に入る際には必ずノックをしたり、利用者の方への声掛けもさりげなく、感謝の気持ちを常に持ち、喜びを引き出す言葉かけや雰囲気づくりができていました。		

### IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
	研修に参加したら会議等で必ず報告し、全職員周知し、積極的にサービスの質の向上に努めている。反省・意見交換等、日々の生活の中で職員同士が改善すべき点等を話し合い、また、事故、ヒヤリ・ハット等は小さなことも記録して事故発生の防止に努め、感染予防対策にも努めている。災害時の避難訓練等も含め、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。		